

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	受講生の学びへの参加を促す授業づくりに関する研究 ——多様な学生を取り残さないポストコロナを見据えた授業アプローチの模索				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	二羽 泰子
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	二羽 泰子

<b>講演題目</b>	
受講生の学びへの参加を促す授業づくりに関する研究 ——多様な学生を取り残さないポストコロナを見据えた授業アプローチの模索	
<b>研究の目的、成果及び今後の展望</b>	
<p>本研究の目的は、大学の授業に参加しづらい学生の学びの機会を確保するとともに、ポストコロナにおいて望まれている大学の授業のあり方を示唆するために、多様な背景のある学生が参加しやすい授業形態やアプローチについて明らかにすることである。本目的の達成のために、1) 多様な学生に参加しやすい授業はどのようなものか、2) ポストコロナに求められる多様な学生を取り残さない授業形式はどのようなものか、の2点について明らかにした。</p> <p>学生のフィードバックや受講状況を分析した結果、1) については、講義のみではなく、コミュニケーションが苦手な学生も含めて参加しやすいアクティビティを含めることが効果的だと分かった。</p> <p>2) については、オンライン形式、対面形式共に強く望む声が上がっており、現段階ではハイブリッドが望ましいという結果であった。しかし、ハイブリッド授業では、オンラインで来たチャットと対面の発言の両者に対応することが難しいこと、受講生が分散するためグループワークのメンバーが固定化しやすいことなど、授業の質における制限が発生することも避けられない。</p> <p>以上より、今後の授業においては、ハイブリッド形式で、発言が苦手な学生も参加しやすい活動を多く取り入れた授業を行いつつ、ポストコロナの状況における学生のニーズの変化を注視していく必要があると考える。</p>	